

「観光科学研究」投稿規定（2021年7月8日承認）

I. 編集方針

観光科学研究は、東京都立大学 都市環境科学研究科 観光科学域/都市環境学部 観光科学科（以下、観光科学教室）が発刊する観光科学に関するオンラインの研究・情報誌である。観光科学に関連がある研究成果、取り組み紹介等を広く掲載し、観光に関わる方、あるいは興味関心がある方に情報交換の場を提供することを目的とする。

II. 投稿の資格

本誌への投稿者は、教員、研究員、大学院生等、観光科学教室の構成員を基本とする。いずれが主著者の場合も著者に最低1名、観光科学教室の教員（特任教員を含む）を含むことを原則とする。著者に教員が含まれない原稿や、観光科学教室の構成員以外が主著者となる原稿の受付については、事前に編集委員会で協議を行い、認められた場合のみ受け入れることとする（特集号等を想定）。

III. 原稿の種類

原稿の種類は、論説、展望、研究ノート、討論、報告、その他とする。

- ・論説は、オリジナルな学術研究の成果あるいは関連分野のレビューで、他の学術雑誌等に報告されていないものとする。
- ・展望は、ある主題に関する研究成果を分析・検討し、研究の流れ・現状・展望などについて著者の見解を付したものとする。
- ・研究ノートは、オリジナルな学術研究の中間報告や新しいデータ・資料などとする。
- ・討論は、特定の研究テーマにおける専門的な意見交換や相互討論とする。
- ・報告は、特色のある調査・計画・事業等の報告、あるいは、演習・実習・巡検等の報告とし、観光科学に関する新たな知見を含むと認められるものとする。
- ・その他、書評、各種ソフトの紹介、地域の情報、研究発表要旨など関連する分野の研究・教育に関する情報や意見等についても、観光

科学科が発行する内容として適当であれば掲載する。

IV. 原稿の分量

図表を含む基準ページ数は定めない。ただし、執筆要項に定めるフォーマットを用いた状態で10ページ程度を目安とする。極端にページ数が多い場合は、編集委員会から再構成の指示を行う場合がある。

V. 投稿の時期、期限

特に定めない。ただし、特集号等、編集委員会からの依頼による原稿の場合、編集委員会の定める期限を締切とする。

VI. 投稿方法

別途に定める「観光科学研究執筆要項」の定めるところによる。

VII. 「観光科学研究」編集委員会

編集委員会は、観光科学教室の教員で構成し、委員長および委員は、観光科学教室会議において決定する。その他、編集委員会に必要な事項については、別途定めるものとする。

VIII. 論文等の掲載

- 1) 原則として投稿された全ての原稿を掲載する。ただし、著しく公序良俗に反する内容である場合等は編集委員会の判断で掲載を断る場合がある。
- 2) 原稿は、本投稿規定および執筆要領に従って執筆するものとし、これらに準拠していない原稿は著者に対し修正を指示することがある。
- 3) 全ての原稿は、編集委員会による形式的なチェックのみを行い、査読は行わない。
- 4) 形式の訂正などが指摘され、著者に返還された原稿については、指定された締切までに改訂原稿が提出されない場合、掲載を不許可とする場合がある。

- 5) 内容の訂正に際して、著者は修正要求・修正希望に指摘された事項に適切に対応する。なお、修正段階では指摘の範囲以外に追記、修正をすることは原則として許可しない。

VIII. 付則

この規定の変更は、「観光科学研究」編集委員会からの提案を受けて、観光科学科教員会議の議を経ておこなう。その他必要な事項は、「観光科学研究」編集委員会において決定する。

この規定は、2007年9月3日に制定、施行する。

(2013年10月25日、2014年01月09日、2018年05月19日、
2019年05月10日一部修正、2021年07月8日大幅修正)

「観光科学研究」執筆要領

I. 原稿の基本様式

原稿は、原則として「観光科学研究」編集委員会が提供するテンプレートを利用して作成する。提出原稿は Word 形式で、最終原稿（掲載される原稿）は PDF 形式で提出すること。

投稿原稿は日本語または英語とする。英語を母国語としない投稿者が英語で投稿する場合は、事前にネイティブチェックを受けることを強く推奨する。編集委員会では英文の校正、外部への依頼は実施しない。

テンプレート使用及びファイル形式の指定の目的は、フォーマットの統一および分量の正確な把握であり、第二は出版の迅速化にある。

II. 投稿方法

原稿は電子メールに添付して当該年度の編集委員長宛に送信する。なお、投稿の際は、必ず投稿原稿の種別（論説、展望、研究ノート、フォーラム、書評、研究、発表要旨、その他）および連絡対応著者を明示すること。

III. 執筆上の留意点

- 1) 原稿は多くの人々に読まれ、理解されやすいように平素な表現で書く。
- 2) 簡潔に記述し、読者が内容の筋を見失うような冗長な表現および構成は避ける。
- 3) 読者に結論が明確に伝わるように書く。
- 4) 他の文献等から引用を行う場合には、著作権に触れることのないように十分留意するとともに、必ずその出典を明らかにすること。

IV. 執筆方法

4.1 文章

- 1) 原稿は、横 41 文字、縦 45 行の 1 段組とする。数字およびローマ字は半角扱いとする。見出し前後のスペースの取り方はテンプレートに準拠する。項目ごとのポイント数およびフォントも同じくテンプレートに準拠し、一般的なもの（日本語：明朝、英語：Times）。フォントサイズは下記表 1 を参照のこと。
- 2) ヘッダーやフッターにページ数をつけない。

- 3) 簡潔平明な理解しやすいひらがなまじりの口語体とする。章立ては原則として次の例に準拠し、本文中で触れる場合は「1 では」、「2.1(2)において」のように言及すること。

章 I. II. III. IV.

項 1.1 1.2 1.3 1.4

目 (1) (2) (3) (4)

4.2 用字、用語

文章は、常用漢字と現代かなづかいを用いる。やむをえず常用漢字以外の漢字を用いる場合は、その後ろに括弧付きで読み方を標記すること。また、数字はアラビア数字（数量を表すとき）を用いる。

年号は原則として西暦を用いる。元号の表記が必要な場合は、「1972 年（昭和 47 年）の生まれである」のように、西暦の後ろへ併記する。

ローマ字、ギリシャ文字、イタリック体文字はその区別を明確にする。

本文、図・表とも句読点は、「、」（カンマ）、「。」（丸）に統一する。

4.3 数式

数式は重要なものだけを示す。詳細な説明が必要な時には付録に示す。例えば、

(8pt・半行程度のスペース)

$$A \times x + b = c \quad (1)$$

(8pt・半行程度のスペース)

のように記述する。できるだけ Word のオブジェクト中に準備されている数式エディタを用いる。文章の中に数式が入る時は、誤解のないよう注意して 1 行で書く。

4.4 図・表

- 1) 図・表の数はできるだけ少なくし、重要でないものは省く。図と表とが同一内容の時には、どちらか一方にする。
- 2) 複写したものは避ける。必要な場合は、掲載前に現著作権者へ転載の許可を取っておくこと。
- 3) 図の目盛線、表の罫線の間隔は、見やすくなる

ように設定する。

- 4) 図・表・写真は原稿中に貼付して提出する。刷上りの大きさを考慮し、図・表中の文字、記号については縮小後でも判別できる大きさに記入する。なお、不明確な図・表や大きな図・表については、編集委員会から修正を求められることがある。
- 5) 図や写真はカラーを利用できる。写真等は、印刷に耐えられる画質のものを利用すること。
- 6) 図（写真）・表のキャプションは以下のようにし、図の場合は図の下側、表の場合は表の上側に置く。

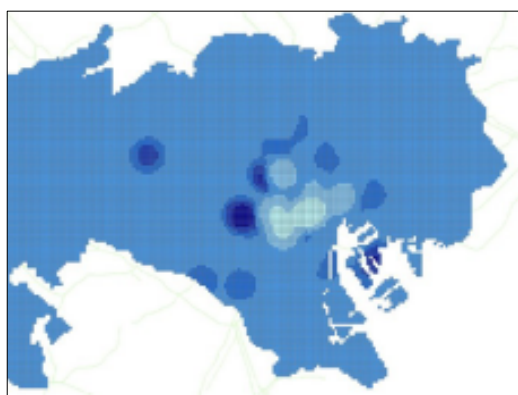


図1 ラスタ演算による日米ツーリズム空間の差分解析結果

表1 各項目のフォントサイズ

項目	ポイント数
表題（和文）	14
表題（英文）	14
著者名（和文）	10
著者名（英文）	10
脚注の著者連絡先	8
章のタイトル	12
アブストラクト	9
本文	9
参考文献	8
注	8
謝辞	8

4.5 摘要

内容を端的に要約した日本語（800字目安）およ

び英語（200 words 目安）のアブストラクトを原稿の冒頭を書く。

V. 文献の引用・注記のしかた

- 1) 引用文献は本文の末尾にまとめて記載する。
- 2) 注記を入れる場合は、本文中の引用箇所の右肩に、小括弧を付した注記番号を文献の番号を記入する（例：文献1）を参照。そして、本文と文献リストの間に、注をまとめて挿入すること。
- 3) 本文中で文献を引用する際は、次のように表記する。

VI. その他

連絡先に電子メールのアドレスを記入するか否かは、著者に一任する。

最終原稿の pdf ファイルを執筆者に提供する。

VII. 付則

この規定の変更は、「観光科学研究」編集委員会からの提案を受けて、観光科学科教員会議の議を経ておこなう。

その他必要な事項は、「観光科学研究」編集委員会において決定する。

この規定は、2007年9月3日に制定、施行する。

（2021年07月8日大幅修正）

付録

付表1 Windows と Macintosh のフォントの対応

	Windows	Macintosh
明朝体	MS 明朝	細明朝体または MS 明朝
ゴシック体	MS ゴシック	中ゴシック体または MS ゴシック
Times	Times New Roman	Times
Arial	Arial	Arial
Symbol	Symbol	Symbol

（2008年2月2日、2011年2月12日、2013年2月18日、2013年10月25日、2014年01月09日、2018年05月19日一部修正、2020年01月09日一部修正、2021年04月12日一部修正）